

「高原の花火」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



高原の花火大会は、空気が澄んでいて美しい、とよく言われる。その通りだと思う。毎年8月の中旬に行われる、北軽井沢の花火大会もその一つだ。標高 1100 メートルの浅間高原に咲く大輪の花火は、実に美しく印象的だ。花火大会の会場は混んでいて、駐車場からも遠いので、私は友人たちと、作品展を開催している駅舎から見物することにした。今回はその写真を楽しんでいただきたい。

「夕暮れの北軽井沢駅舎」 ここで8月10日から17日まで、私の水彩画作品展を開催している。



「北軽井沢駅舎前の線路から見た花火大会」

打ち上げ会場になっている「ふれあい広場」からは少し遠いが、真上を見上げなくてもいいので、楽に見られる。しかも人が少なく、ゆっくり見物できる。



「一発ずつゆっくり揚がる花火」

全部スポンサーが決まっていて、この花火は誰それ提供！とマイクで説明が入る。



「最後にドッカーンと揚がって、北軽井沢の夜空を飾った大花火」

何度も終わりの花火だ！と思ったら、まだ続いていて、とても面白かった。